



宮崎大学 CO2削減ロードマップ

2030年CO2排出量の51%削減（2013年度比）に向けて

2025年4月1日時点

3.CO2削減に向けた基本方針

社会の先導モデルとなる取り組みを推進する

取組項目	取組内容
①建物新築及び既設建物改修時はZEB化を目指す	<p>1.新築時はZEB-Ready (BEI\leq0.5) と実排出量の削減を目指す</p> <p>方策① 建物断熱仕様 ・屋上：硬質ウレタンフォーム t50 ・外壁：吹付硬質ウレタンフォーム t25</p> <p>方策② 建具仕様 ・南面：Low-E5+A6+FL5 ・その他：FL5+A6+FL5（その他面もLow-e検討）</p> <p>方策③ 高効率空調機へ更新（人感センサー連動を検討） 全熱交換機設備へ更新（CO2センサー連動を検討）</p> <p>方策④ LEDへ更新（居室：在室検知センサー及び昼光センサー連動を検討）</p> <p>方策⑤ 太陽光発電設備の設置を検討</p> <p>2.大規模改修時はZeb-Oriented (BEI\leq0.6) と実排出量の削減を目指す 方策①～⑤ 新築時と同じ</p>
②電気・機械設備の更新	<p>①20年以上経年した設備を更新</p> <p>②CO2排出係数とLCCコストを総合的に判断し決定 （例：ガスから電気など、同型機更新でなく、ゼロから検討すること）</p> <p>③維持管理コストを考慮し、ユーザーへの説明が必須</p>
③再生可能エネルギー設備の新設・改修	<p>①太陽光発電設備を新設</p> <p>②LCCコスト及び更新コストを考慮し、総合的に判断する</p>
④啓発活動	<p>①部局別エネルギー報告（月1回）をポータルに掲示</p> <p>②省エネパンフレット周知、待機電力キャンペーンの実施及び夏季・冬季の節電対策へ取り組む</p> <p>③エネルギー量の多い夏季・冬季の使用量、料金を理事・役員・部局長へ全学会議で報告する</p>
⑤2050年カーボンニュートラルを見据えた取組	<p>①再生可能エネルギーの最大限の活用(新しい技術の率先的導入・蓄電池設備の積極的導入など)</p> <p>②再生可能エネルギー電力の積極的導入またはCO2排出係数が可能な限り低い電力の調達を図る</p> <p>③森林の整備・保全の推進(本学所有の森林を適切に管理・保全することによりCO2吸収源として維持する)</p>



宮崎大学 CO2削減ロードマップ

2030年CO2排出量の**51%削減**（2013年度比）に向けて 2025年4月1日時点

5. CO2排出量削減ロードマップ

学部名	期	面積 (㎡)	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
中期目標・中期計画			第3期			第4期中期目標・中期計画期間					第5期							
2030年CO2排出量▲51%(2013年度比)達成目標カウントダウン			11年	10年	9年	8年	7年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	0年	→2050年に向けて			
農学部改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	4,060	■															
	II期	5,410		■														
	III期	5,670			■													
	IV期	4,370				■												
	V期(獣医)	5,900					■											
工学部改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	4,720						■										
	II期	3,980							■									
	III期	1,780								■								
	IV期-①	2,964									■							
	IV期-②	2,434										■						
(木花) 体育館改修	I期	3,280									■							
	II期											■						
教育・地創学部改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	18,850												■				
	II期														■			
	III期															■		
	IV期																■	
	V期																	■
	VI期																	
太陽光発電設備	PPA事業	20年間																
病院ESCO事業	熱源設備	15年間																
高効率空調機改修																		
蛍光灯のLED化																		
2050年までのロードマップの策定																		

- (1) 建物全面改修、高効率空調機、LED化により、CO2排出量を対前年度比で毎年度▲1%を目標とする。
- (2) 政府方針や技術の進歩を踏まえ、2030年度までのロードマップとし、以降は2029年度に策定する。
- (3) 2030年度までのロードマップは完成形ではなく、フォローアップを前提に策定し、随時フォローアップする。